

Ⅳ 地域保健課・こども家庭課事業実績

1 健康づくり推進事業

(1) 地区における健康づくり活動

目 的：地区まちづくり協議会が、地区における健康課題を解決できるよう、地区担当保健師が統計情報や地区活動・保健サービス等の提供時に把握したこと等に基づき捉えた健康課題を明らかにし、地区まちづくり協議会と共有、解決に向けて連携することにより効果的に健康づくりの推進を行う。

内 容：地区担当保健師が地区における健康課題をとらえ、地区まちづくり協議会と情報共有し、協働で地区における健康づくり活動を行う。

実施状況：令和7年度実績

方法	実施地区	実施先及び内容
ア 地区担当保健師と地区まちづくり協議会のつなぎ役の設置	26 地区	健康スポーツ部会、総務部会、女性の会、福祉部門長、福祉健康委員会、体育保健部、福祉推進会、ふれあい部会、事務局、代表委員会、福祉部、まちづくり協議会会長、区長、まちづくりセンター長等
イ 地区状況や地区健康課題を作成し、まちづくり協議会の部会等において説明	26 地区	地区まちづくり協議会理事会、地区まちづくり協議会役員会、町内会長会議、健康スポーツ部会、体育部、生涯学習部会、福祉推進会、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会、地区有償ボランティア、ふれあいいきいきサロン等
ウ まちづくり協議会と健康課題について協議	9 地区	
エ まちづくり協議会と協働の健康づくり活動の企画・実施	26 地区	・健康に関する講演会の実施 1 地区 ・チラシの全戸配布 (地区概況、大腸がん検診受診勧奨等) 2 地区 ・女性の会において勉強会実施 1 地区 ・文化祭にて健康測定・啓発活動の実施 21 地区 ・地区イベントにて健康測定・啓発活動の実施 (スポーツフェスティバル、各種イベント等) 20 地区 ・まちな保健室にて健康測定 11 地区

(2) 健康・食育サポーターの活動

目 的：地区保健活動への協力・支援を行い、自主的なボランティア活動等を実施することで、自身の健康と生きがいづくりにつなげ、さらには健康な地域づくりを目指す

人 数：64 人（令和8年3月31日現在）

内 容：地区活動での準備片付け・受付、インボディ、血管年齢、内転筋力、握力等の測定及び介助、イベントでの健康啓発・食育啓発事業での準備片付け・受付、案内、誘導、啓発

活動状況： (単位：回・人)

内 容	回 数	人 数
研修会	1	14
地区活動	30	延べ 52
イベント	2	延べ 24

(3) 職域への健康対策支援事業

目 的：「健康ふじ 21 計画Ⅲ」に基づき、働き盛り世代の検診受診率向上や生活習慣病予防を図る。

ア ふじ職域健康リーダーの設置推進・育成

目 的：事業所にふじ職域健康リーダーを設置し、地域職域保健の連携を強化する。

設 置 数：132 事業所(令和 8 年 3 月 31 日現在)

ふじ職域健康リーダー新規設置事業所への支援：4 事業所

(訪問：2 事業所 来所：2 事業所)

情報提供：生活習慣病等の健康情報を郵送 年 1 回

集合研修：富士健康福祉センター福祉課と共催で富士圏域事業所を対象に研修会を開催。年 1 回。

参加者 23 人 (内、ふじ職域健康リーダー設置事業所から 17 人)

イ 事業所での健康講座

目 的：事業所の依頼等により健康講話を行い、勤労者の健康増進・生活習慣病予防等の疾病予防を図る。

内 容：健診結果の見方、熱中症、血压管理、交代勤務における体調管理等

実施状況： (単位：か所・回・人)

区分 年度	実施事業所数	実施延回数	実施延人数
令和 3	2	2	89
4	5	6	111
5	3	4	78
6	7	7	226
7	6	6	309

ウ 事業所での健康相談

目 的：勤労者世代の健康対策として、事業所従業員を対象に生活習慣をふり返るきっかけを提供し、健康行動を支援する。

内 容：事業所内で簡易健康チェックの実施

インボディ測定、骨密度測定、血管年齢測定等と結果説明および保健指導

実施状況：

(単位：か所・回・人)

区分 年度	実施事業所数	実施延回数	実施延人数
令和3	4	8	114
4	11	16	292
5	11	15	281
6	18	22	522
7	17	20	428

(4)野菜摂取普及啓発活動

目 的：バランスの良い食習慣の確立を目指し、一般市民を対象に不足しがちな野菜摂取や、
バランスの良い食生活に関する普及啓発を行う。

内 容：野菜レシピ・チラシの配布・配信と野菜レシピの新聞掲載による啓発活動

実施状況：

(単位：回・枚)

事業名	内容	回数	枚数
野菜摂取普及啓発活動	JA産直市野菜レシピ配布	84	1,970
	企業への野菜レシピメール配信	6	4,500
	富士ニュース野菜レシピ掲載	11	198,000
	野菜摂取チラシ配布	88	4,692
合 計		189	209,162

2 健康増進事業

健康増進法に基づき 40 歳以上の市民を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導を実施した。

(1) 健康教育

ア がん共生セミナー

目 的：がんについて正しく知り、がんと診断されても家庭や地域・職場で支え合い、相談や支援が受けられる「がんと共生」について理解を深める。

対 象：職域事業所の管理者等および一般市民

実施状況：

(単位：人)

	内 容	講 師	参加者数
第 1 課	がん予防・がん検診 がん治療の現状 がん治療と仕事の両立支援	健康政策課 医 師 社会保険労務士	14
第 2 課	がん治療とくすり がん治療と緩和ケア がん治療と暮らし（栄養・アピアランスケア・若年がん患者等支援事業）	薬剤師 緩和ケア認定看護師 管理栄養士・看護師・健康政策課	11
第 3 課	がん相談支援センター がん患者サロン がんと共に生きる	看護師 看護師 ピアサポーター	9

イ 女性のがん予防

市民一人ひとりが女性のがんについて正しく知り、早期発見・早期治療に自ら積極的に取り組むことを促すために、骨の健康相談会や幼児健診、地区活動で乳がんのセルフチェック等を含む啓発用動画を流すとともに、動画案内用チラシを作成し配布した。

ウ その他健康教育(健康増進事業以外も含む)

内 容：地区活動による健康教育、栄養士その他講座、職域健康教育、がん共生セミナー、地区防災関連等

実施状況（事業での再掲含む）：

(単位：回・人)

年度	区分	回数	参加者数
令和 3		160	3,386
	4	256	4,529
	5	179	3,580
	6	203	4,669
	7	210	5,277

(2)健康相談

ア お出かけ健康相談(啓発事業)

目 的：身近な生活圏である商業施設、イベント等で気軽に相談でき、健康づくりの情報を得る環境を作ることで、健康度の向上を図る

対 象：市民、事業所従業員

内 容：健康チェック、健康相談

スタッフ：保健師、栄養士等

実施状況：(単位：回・人)

年度	区分	回数	参加者数
	令和 5	39	3,029
	6	47	3,075
	7	54	3,506

※令和 3～4 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 骨の健康相談

目 的：市民が骨粗しょう症やロコモティブシンドロームについて理解し、食事・運動等の生活習慣を改善することで、健康寿命が延伸できるようにする。

対 象：20 歳以上の市民

内 容：問診、推定骨量測定、保健指導

スタッフ：保健師、看護師

会 場：フィランセ 1 階 骨の相談室、まちづくりセンター

申込方法：電話予約

実施状況：(単位：人・%)

年度 区分	令和 3			4			5			6			7		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
利用者	187	850	1,037	292	1,224	1,516	172	1,344	1,516	229	1,148	1,377	167	999	1,166
65 歳 以上者 割合	69.0	51.9	55.0	68.5	51.3	54.6	73.8	45.2	48.8	72.9	53.9	57.1	82.6	51.1	55.6
再利用 者割合	40.6	54.8	52.3	33.9	56.0	51.8	40.7	53.2	51.8	37.1	56.5	53.3	55.7	63.5	62.3

年度別の内訳：(単位：回・人)

年度		令和 5		6		7	
区分		回数	人数	回数	人数	回数	人数
骨の健康相談	フィランセ	22	374	34	556	33	465
	まちづくりセンター	37	621	26	402	25	332
乳がん検診と同時実施等		23	521	15	419	14	369
合 計		82	1,516	75	1,377	72	1,166

ウ 富士市まちの保健室

目 的：まちづくりセンター等で地区住民と顔の見える関係を作りながら、居住地区で気軽に健康相談等を受けることができるようにする。

対 象：市民

内 容：健康チェック、保健指導

スタッフ：保健師

会 場：まちづくりセンター、公会堂等

実施状況：（単位：回・人）

年度 \ 区分	回数	参加者数
令和 3	27	405
4	39	554
5	46	962
6	41	629
7	40	580

エ その他健康相談

実施状況（事業での再掲含む）：（単位：回・人）

内 容	回 数	参加者数
地区活動等での健康相談 （インボディ・血管年齢・握力測定等、骨の健康相談、血圧測定等）	184	5,675
骨の健康相談	72	1,166
呼吸機能訓練教室 骨の健康相談	1	6
職域 健康相談・事業所訪問	22	434
職域 健康相談（電話）	0	0
保健師 電話相談	0	0
栄養士 電話相談	25	25
合 計	304	7,306

（３）訪問指導

ア 訪問指導

目 的：療養上の保健指導が必要と認められる者及び家族等に対して、訪問してその健康に関する問題を把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る

対 象：40 歳以上の者

内 容：家庭における療養方法に関する指導、生活習慣病の予防、介護予防に関する指導、家族介護を担う者の健康管理、等

スタッフ：保健師、管理栄養士

実施状況：（単位：人）

年度 \ 区分	令和 4	5	6	7
実人数	4	3	2	0
延人数	18	6	3	0

イ 受診勧奨訪問

目 的：国保特定健診の前年度未受診者等に対して継続的な受診を促し、健康寿命の延伸を図る

対 象：国保特定健診対象者（各地区の健康状況に合わせた抽出条件を設定する）

内 容：特定健診（集団・個別）の案内、地区の保健事業の案内等

スタッフ：保健師

実施状況：（単位：人）

区分 \ 年度	令和 4	5	6	7
訪問人数	943	874	312	288
実際に会えた人数	684	662	207	159
特定健診等受診人数	198	176	79	40

3 地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として市町村が行うものである。

地域支援事業には「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」「包括的支援事業」「任意事業」があり、高齢者支援課が主体で行っているが、総合事業の内、「一般介護予防事業」の一部を執行委任により実施している。

(1) 介護予防普及啓発事業

ア 栄養満点教室

目 的：フレイル予防や改善のための知識の普及を通じ、高齢者がいつまでも自立した生活が続けられるよう、生活の質（QOL）の向上を目指す。

内 容：フレイル予防のための食生活・運動・口腔衛生・嚥下に関する講話、体組成測定による評価。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分	教室数	回数	実人数	延人数
令和 3	1	4	15	55
4	2	4	36	57
5	2	4	15	23
6	3	6	51	92
7	3	6	31	60

イ ご近所さんの運動教室

目 的：運動教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内 容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での運動教室を行う。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和 3	64	1,276	718	10,017	78
4	74	1,703	913	13,830	91
5	75	1,811	845	15,737	93
6	73	1,943	956	18,058	100
7	77	1,969	1,012	18,949	111

ウ ご近所さんの料理教室

目的：身近な場所で、料理教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での料理教室を行う。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和	3	2	4	7	28	2
	4	1	12	7	84	1
	5	1	12	7	84	1
	6	2	13	14	91	2
	7	3	35	20	209	3

(2) 地域介護予防活動支援事業

ア 介護予防サポーター(運動)養成講座

目的：介護予防の取組を地域に広めたいという意思のある人に対し、必要な知識と技術の習得を図り、ご近所さんの運動教室を開催できるサポーターを養成する。

内容：介護予防のポイントや通いの場の意義、フレイル予防の運動実技、教室で使えるレクリエーション、認知症の人への対応等についての講義

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	実施回数	実人数	延べ人数
令和	3	4	9	34
	4	4	21	79
	5	4	20	74
	6	4	25	90
	7	4	31	115

イ 介護予防サポーター(運動)現任研修

目的：介護予防サポーター(ご近所さんの運動教室指導者)がより実践的な技術を習得し、主体的に活動できるよう支援する。

内容：高齢者の体の動きを理解し、参加者が安心して実施できる運動指導技術等を学ぶ。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	実施回数	実人数	延べ人数
令和	3	2	37	37
	4	2	41	52
	5	2	47	68
	6	2	53	80
	7	2	60	78

ウ 介護予防サポーター(栄養)養成講座

目 的：市民が高齢になっても、身近な場所に社会参加の場があり、役割を持ちながら、住みなれた場所でいきいきとした生活が送れることを目指すため、社会参加の場のひとつとして料理教室を開催できるサポーターを養成する。

内 容：講話と調理実習、低栄養予防、運動、口腔衛生についての知識を得る。

実施状況： (単位：回・人)

区分 年度	実施回数	実人数	延べ人数
令和 3	2	11	22
4	4	7	28
5	4	6	23
6	4	9	34
7	4	14	56

エ 介護予防サポーターの活動支援

目 的：元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指し、介護予防に資する「通いの場」を市内に多く展開できるよう、その活動を支援する。

実施状況： (単位：回・人)

教室	内容	回数	実人数	延人数
ご近所さんの運動教室	健康相談・健康講話	123	784	1,294
	看護師による個別相談※	124	214	389
ご近所さんの料理教室	健康相談・健康講話	3	17	17
交流会	連絡事項等の周知	1	53	53
理学療法士派遣	理学療法士による体力評価	35	389	389
栄養士派遣	栄養士による健康講話	18	192	192
歯科衛生士派遣	歯科衛生士による健康講話	19	184	184

※高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により開始した教室参加者への個別支援事業（令和5年度開始）

4 母子保健事業

母子保健法に基づき、母性ならびに乳幼児の健康の保持及び増進(妊婦の妊娠・出産または育児についての正しい理解と自らの健康保持及び増進、ならびに乳幼児の保護者の育児についての正しい理解と乳幼児の健康保持及び増進)を図るため、保健指導、健康診査等の措置を講じ、国民保健の向上に寄与する。

(1) プレコンセプションケア健康診査事業

ア プレコンセプションケア健康診査

目 的：妊娠前に健康状態を把握し、妊娠しにくい病気や妊娠中のリスクとなる疾患の早期につなげる。また、生活習慣の改善支援や正しい情報提供を通じて、安心して安全な妊娠・出産ができるよう支援する。

対 象：中学生から 43 歳未満の市内に住所を有する男女

利用回数：最大 2 回（20 歳未満 1 回、20 歳以上 1 回）

内 容：カウンセリングの実施、必要に応じて検査の実施

検査項目：身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、
婦人科検査（女性のみ）、精液検査（男性のみ）

実施状況： (単位：人)

区分 年度	受診数				受診結果				
	受診総数 (カウンセリング 実施数)	検査実施数（再掲）			所見 なし	所見あり			
		男性	女性 A	女性 B		要経過 観察	要治療	要生活 習慣改善	その他
令和 7	8	3	5	0	4	2	0	1	1

※令和 7 年 11 月補正により予算確保、令和 8 年 1 月受付開始、健診実施期間は令和 8 年 2～3 月。

※富士市立中央病院において先行開始。

※女性の検査内容の違いは性交渉経験の有無による。Aは有、Bは無。

(2) 不妊・不育治療費補助事業

ア 不妊・不育治療費補助金

目 的：不妊治療又は不育治療に要する費用の一部補助を行い、不妊・不育に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

対 象：夫又は妻が市内に住所を有し、不妊治療又は不育治療を受けている夫婦（事実婚含む）

内 容：補助は、当年度において不妊治療又は不育治療に要した費用から保険者が負担また助成した額及び静岡県不妊治療費（先進医療）補助金を控除した額の 3 分の 2 の額とし、1 年度あたり 100 万円を限度とする(100 円未満の端数は切り捨て)。

利用回数は、治療対象の子ひとりにつき 1 年度あたり 2 回、通算 5 箇年度を限度とする。

実施状況：

(単位：人・円・%)

区分 年度	申請者		平均補助金額			妊娠確認数 (割合)
	実人数	延 人 数	一般 不妊 治療	生殖 補助 医療	不育 治療	
令和 3	403 (一般 109・生殖 293・不育(再掲)13)	445	50,118	230,840	19,160	101(25.1)
4	316 (一般 64・生殖 285・不育(再掲)6)	349	39,925	161,576	14,806	111(35.1)
5	265 (一般 51・生殖 231・不育(再掲)8)	282	41,718	155,174	28,331	110(41.5)
6	301 (一般 73・生殖 228・不育(再掲)6)	314	30,626	148,225	15,883	105(34.9)
7	361 (一般 86・生殖 274・不育(再掲)3)	374	43,051	200,622	42,327	138(38.2)

※令和 4 年 4 月から不妊治療の保険適用範囲が拡大したことを受け静岡県特定不妊治療費補助金が廃止された。

※令和 4 年 4 月から県の一般不妊治療（人工授精）費等助成事業費補助金が改正されたことを受け、人工授精治療費補助金を廃止し、不妊・不育治療費補助金に統一した。

※令和 5 年 4 月から生殖補助医療（特定不妊治療）において年齢要件を設けた。（当該治療周期開始時において、女性の年齢が 43 歳未満）

※令和 6 年 4 月から県において静岡県不妊治療費（先進医療）補助制度が開始された。

※令和 7 年 4 月から制度拡大。（補助率：1/2→2/3、補助限度額：50 万円→100 万円、利用限度回数：夫婦につき 5 箇年度→治療対象の子ひとりにつき 5 箇年度）

(3) 母性保健

ア 母子健康手帳交付(こども家庭課)

目 的：母子健康手帳交付時に個別に面談し、妊婦の健康維持・増進のために相談に応じ、知識の普及を図る。また産前や、産後の育児支援のために必要な保健事業につなげるきっかけとする。

対 象：妊婦、その配偶者等

内 容：妊娠届出書受理と母子健康手帳の交付、セルフプランの作成、妊娠・出産に関する保健指導

スタッフ：保健師

会 場：こども家庭センター 母子相談室

実施状況：月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

日曜日(第 1 日曜日)午前 9 時～午後 4 時 255 日

(ア) 妊娠届出状況

(単位：人・％)

区分 年度	妊娠届出数		妊娠週数					妊娠届出者の状況(再掲)		
			11 以下	12～19	20～27	28 以降	出産後	初妊婦	10 代	外国人
令和 3	実人数	1,531	1,463	50	11	6	1	702	24	74
	割合	100.0	95.6	3.3	0.7	0.3	0.1	45.9	1.6	4.8
4	実人数	1,436	1,360	63	5	7	1	677	22	91
	割合	100.0	94.7	4.4	0.3	0.5	0.1	47.1	1.5	6.3
5	実人数	1,319	1,241	61	10	6	1	638	18	92
	割合	100.0	94.1	4.6	0.8	0.5	0.1	48.4	1.4	7.0
6	実人数	1,356	1,287	50	12	5	2	666	19	142
	割合	100.0	94.9	3.7	0.9	0.4	0.1	49.1	1.4	10.5
7	実人数	1,295	1,206	63	15	10	1	649	14	122
	割合	100.0	93.1	4.9	1.2	0.8	0.1	50.1	1.1	9.4

(イ) 妊婦の喫煙・飲酒状況

(単位：人・％)

区分 年度	妊 娠 届 出 数		喫 煙 状 況		飲 酒 状 況	
			や め た	吸 っ て い る	や め た	飲 む
令和 3	実人数	1,531	234	27	756	4
	割合	100.0	15.3	1.8	49.4	0.3
4	実人数	1,436	200	35	687	4
	割合	100.0	13.9	2.4	47.8	0.3
5	実人数	1,319	166	29	622	6
	割合	100.0	12.6	2.2	47.2	0.5
6	実人数	1,356	165	33	630	8
	割合	100.0	12.2	2.4	46.5	0.6
7	実人数	1,295	124	21	509	3
	割合	100.0	9.6	1.6	39.3	0.2

イ 妊婦健康診査(こども家庭課)

目 的：妊婦が定期的に健康診査を受診することにより、急激な母体変化による異常や胎児異常の早期発見及び異常出産・未熟児出産の予防等のため、適切な保健指導が受けられるよう公費による妊婦健康診査を委託医療機関等において実施し、妊婦の保健管理の向上を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた妊婦

内 容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握、子宮頸がん検診（細胞診）
血液検査：血液型（ABO 血液型・RH 血液型・不規則抗体）、血算、血糖、B 型肝炎抗原検査、C 型肝炎抗体検査、梅毒血清反応検査、風疹ウイルス抗体価検査、トキソプラズマ、HIV 抗体価検査、HTLV-1、クラミジア検査、腹部超音波検査、B 群溶血性レンサ球菌（GBS 検査）

実施状況：基本健診 14 回（超音波検査 4 回、血液検査 1 回、血算検査 1 回、GBS 検査 1 回は健診と同時実施） 予定日超過の場合 2 回まで基本健診補助 延べ受診人数 24,610 人

ウ 多胎妊婦健康診査(こども家庭課)

目 的：単胎妊娠よりも負担の大きい多胎妊娠のより安全な分娩と健康な児の出産のため、医療機関において公費負担による多胎妊婦健康診査を実施することにより、多胎妊婦の保健管理の向上を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた多胎妊婦

内 容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握

実施状況：基本健診 5 回追加

延べ受診人数 5 人

エ 妊婦歯科健康診査(こども家庭課)

目 的：妊婦の口腔内の改善、歯周病等の早期発見と治療や予防、生まれてくるこども（胎児）の健康増進を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた妊婦

実施状況：市内 95 医療機関で実施

受診状況及び受診結果：

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	受診者数	受診率	受 診 結 果					
				異常なし	割合	要指導	割合	要精検	割合
令和 6	1,139	377	33.1	78	20.7	138	36.6	161	42.7
7	1,353	582	43.0	102	17.5	168	28.8	312	53.6

歯数、歯周炎の状況：

(単位：本・人)

区分 年度	※ ¹ 現在歯数 (平均)	※ ² 健全歯数 (平均)	※ ³ 進行した歯周炎を有する人
令和 6	28.4	21.1	21
7	28.4	21.5	38

※¹ 現在歯：歯の全部または一部が口腔内に現れているもの

※² 健全歯：う蝕あるいは歯科的処置が認められないもの

※³ 進行した歯周炎：歯周疾患の検査である C P I 検査で 6mm 以上の深い歯周ポケットのあるもの

オ 基本健診 妊婦健康診査受診状況(こども家庭課)

(単位：人)

受診券交付者実人数 (A)	1,358
健診受診実人数	2,009

(単位：人・%)

			基本健診															
			初回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
健診受診人数 (B)			1, 274	1, 255	1, 209	1, 264	1, 256	1, 222	1, 226	1, 218	1, 184	1, 129	1, 147	1, 085	838	511	237	71
受診率 (B/A)			93. 8	92. 4	89. 0	93. 1	92. 5	90. 0	90. 3	89. 7	87. 2	83. 1	84. 5	79. 9	61. 7	37. 6	17. 5	5. 2
結果	1	所見なし	1, 115	1, 250	1, 208	1, 259	1, 243	1, 202	1, 202	1, 195	1, 154	1, 106	1, 113	1, 063	827	506	234	60
	2	所見あり	159	5	1	5	13	20	24	23	30	23	34	22	11	5	3	1
		妊娠高血圧症	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	5	7	1	0	1	0
		妊娠糖尿病	1	0	0	1	2	2	5	4	4	1	2	2	1	0	0	1
		その他	158	5	0	3	11	18	19	19	24	21	27	13	9	5	2	0
	2-1	医療機関にて (治療・指導)	8	2	1	3	10	16	22	21	28	19	30	16	8	3	2	1
	2-2	要精密	8	1	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	2-3	要保健師連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2-4	その他	143	2	0	2	0	3	2	2	2	3	4	6	3	2	1	0
県外等補助金申請分 (再掲)			4	3	5	8	9	9	10	13	30	38	40	36	29	15	11	4

力 多胎妊婦健康診査 (単位：人)

受診券交付者実人数	11
受診実人数	4

キ B型・C型肝炎、子宮頸がん検診 (単位：人・%)

健診項目	HTLV-1 抗体検査	HBs 抗原検査	C型肝炎 抗体検査	子宮頸がん 検診	風疹 抗体検査
当該検査受診人数 (E)	1,272	1,272	1,271	1,065	1,269
受診率 (E/交付者数 A)	93.7	93.7	93.6	78.4	93.4
陽性者・要精密検査者等数※	8	1	2	14	478

※HTLV-1 抗体検査・HBs 抗原検査・C型肝炎抗体検査は陽性者数

※子宮頸がん検診は要精密検査数

※風疹抗体検査は予防接種要相談者数

ク 超音波検査 (単位：人・%)

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
受診人数 (F)	1,255	1,264	1,302	1,156
受診率 (F/交付者数 A)	92.4	93.1	95.9	85.1

ケ 血液検査等 (単位：人・%)

区分	血液検査	血算検査	GBS 検査
受診人数 (G)	1,277	1,103	1,127
受診率 (G/交付者数 A)	94.0	81.2	83.0

コ お母さんお父さん教室

目 的：妊娠・出産・産褥および育児に関する正しい知識を普及し、妊婦自身の健康管理が適切に行えるようにすると共に、夫婦で出産や育児に備える心構えが持てるように支援する。

対 象：初妊婦とその夫またはパートナー

内 容：1 課：歯の健康の講話（歯科医師、歯科衛生士）6 回

2 課：妊娠中と産後の食生活の講話（栄養士）6 回

3 課：子育ての講話と実習、グループトーク（保健師）12 回

実施状況： (単位：人・回・%)

区分 年度	初妊婦数	実施回数	実出席数		妊婦 出席率	延出席数	
			妊婦	夫		妊婦	夫
令和 3	702	21	350	289	49.8	585	306
4	677	27	402	350	59.4	754	357
5	638	27	411	368	64.4	779	368
6	666	36	378	347	56.8	698	462
7	649	24	367	351	56.5	635	486

サ プレパパママと先輩パパママ交流会

目 的：妊婦と夫またはパートナー、子育て中の夫婦等が、地域の子育て支援者となつたり、安心して子育てができる地域をつくる。

対 象：開催地区及び周辺に住む妊婦と夫またはパートナー、子育て中の親とその子

内 容：グループワークによる交流、地域の社会資源の紹介 他

スタッフ：民生委員児童委員、主任児童委員、読み聞かせの会、子育てサークル等

実施状況： (単位：回・箇所・人)

区分 年度	開催地区	回数	会場数	参加者 数	スタッ フ数
令和 3	岩松・岩松北、大淵、田子浦、富士北、富士見台・吉永北・神戸・青葉台	5	5	74	52
4	須津・浮島・元吉原、田子浦、富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	17※ ²	17※ ²	246※ ²	188※ ²
5	須津・浮島・元吉原、田子浦、富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	24※ ³	20※ ³	330	271
6	須津・浮島・元吉原、田子浦、富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	20	18	314	253
7	元吉原、田子浦、富士川・松野、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、富士見台、青葉台、今泉	14	13	227	180

※¹ 原田・吉永地区は資料郵送にて対応 ※² 大淵地区は書面で開催

シ 母子栄養強化事業(こども家庭課)

目 的：生活保護世帯、市民税(住民税)及び所得税非課税世帯の妊産婦に対して栄養食品を支給し、健康の保持・増進を支える。

支給期間：妊婦は、栄養食品支給申請書を受理した日の翌々週から、出産した日の属する月の末日。
産婦は、出産した日の属する月の翌月初日から3か月間。

支給品目：妊産婦は妊産婦授乳婦用粉乳。

実施状況： (単位：人・月・箱)

区分 年度	支 給 対 象 者		支給延べ月	支給品目
	妊産婦	乳児	月数	粉乳
令和 3	15	0	43	129
4	9	0	28	84
5	12	0	19	57
6	16	0	49	147
7	9	—	25	75

ス 富士市特定妊婦等の妊産婦事業に係るタクシー乗車利用金助成事業(こども家庭課)

目 的：妊産婦健康診査の受診及び産後ケア事業等を利用する特定妊婦等のタクシー乗車料金を助成することにより、産科医療機関等への移動に係る経済的負担の軽減を図り、特定妊婦等の健康保持増進に寄与する。

対 象：特定妊婦等のうち、経済的に困窮している者

実施状況： (単位：人・回)

区分 年度	実人数	延べ回数
令和 5	5	23
6	4	45
7	2	42

セ 新生児聴覚スクリーニング検査補助事業(こども家庭課)

目 的：新生児期における聴覚障害の早期発見及び早期療育を推進するため、公費負担による新生児聴覚スクリーニング検査を委託医療機関等において実施し、新生児期における聴覚検査の受診率向上を図る。

対 象：新生児又は乳児

内 容：聴覚検査の実施 自動聴性脳幹反応検査(自動ABR)又は耳音響放射検査(OAE)のいずれかの方法によるものとする。

実施状況：富士市妊産婦健康診査等補助金申請34件含む(自動ABR 34件 OAE 0件) (単位：人・%)

区分 年度	対象者 (出生数)		受診者数	検査方法		要再検査	
				自動 ABR	OAE	自動 ABR	OAE
令和 3	人数	1,556	1,427	1,143	284	7	1
	割合	100.0	91.7	80.1	19.9	0.6	0.4
4	人数	1,466	1,327	1,080	247	7	1
	割合	100.0	90.5	81.4	18.6	0.6	0.4
5	人数	1,386	1,251	1,043	208	12	0
	割合	100.0	90.3	83.4	16.6	1.0	0
6	人数	1,242	1,100	1,017	83	12	1
	割合	100.0	88.6	92.5	7.5	1.2	1.2
7	人数	1,264	1,081	1,081	0	13	0
	割合	100.0	85.5	100.0	0	1.2	0

ソ 産婦健康診査補助事業(こども家庭課)

目 的：産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査を公費助成により実施することで、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する。

対 象：概ね出産後8週間以内の産婦

実施時期：第1回(産後2週間) 概ね出産後 5日から21日以内

第2回(産後1か月) 概ね出産後22日から56日以内

内 容：問診(生活環境、授乳状況、育児不安、精神疾患の既往歴、服薬歴等)

診察(子宮復古状況、悪露、乳房の状態等)

体重・血圧測定

尿検査(蛋白・糖)

こころの健康チェック表(エジンバラ産後うつ病質問票：EPDS)

実施状況：

産婦健康診査 1回目(富士市妊産婦健康診査等補助金申請 32件含む)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者 数	受診者 数	結果		要支援内訳 (重複あり)			エンジンバラ				連絡票 (連絡率)
			異常なし	要支援	機関専門 紹介医療	市へ 依頼支援	病院 フォロー 継続	9 点以下	9 点以上 ①	1 点以上 ② 項目10	①かつ ②	
令和3	1, 556	1, 464	1, 286	178	8	97	81	1, 286	178	56	37	91
		94. 1	87. 8	12. 2	0. 5	6. 6	5. 5	87. 8	12. 2	3. 8	2. 5	45. 0
4	1, 466	1, 364	1, 201	163	1	101	70	1, 215	149	36	23	106
		93. 0	88. 0	12. 0	0. 1	7. 4	5. 1	89. 1	10. 9	2. 6	1. 7	65. 0
5	1, 374	1, 305	1, 164	141	2	84	61	1, 141	111	8	45	68
		95. 0	89. 2	10. 8	0. 2	6. 4	4. 7	87. 4	8. 5	0. 6	3. 4	48. 2
6	1, 237	1, 191	1, 010	181	2	88	91	996	151	5	39	96
		96. 3	84. 8	15. 2	0. 2	7. 4	7. 6	83. 6	12. 7	0. 4	3. 3	53. 0
7	1, 264	1, 209	1, 025	184	2	100	85	1, 021	133	5	50	99
		95. 6	84. 8	15. 2	0. 2	8. 3	7. 0	84. 4	11. 0	0. 4	4. 1	53. 8

産婦健康診査 2回目(富士市妊産婦健康診査等補助金申請 40件含む)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者 数	受診者 数	結果		要支援内訳 (重複あり)			エンジンバラ				連絡票 (連絡率)
			異常なし	要支援	機関 専門 紹介 医療	市へ 支援 依頼	病院 継続 フォロー	9 点以下	9 点以上 ①	1 点以上 ② 項目 10	①かつ ②	
令和3	1, 556	1, 545	1, 448	97	4	55	38	1, 438	107	43	23	34
		99. 3	93. 7	6. 3	0. 3	3. 6	2. 5	93. 1	6. 9	2. 8	1. 5	35. 1
4	1, 466	1, 448	1, 347	101	0	57	45	1, 342	106	41	24	39
		98. 8	93. 0	7. 0	0. 0	3. 9	3. 1	92. 7	7. 3	2. 8	1. 7	38. 6
5	1, 374	1, 391	1, 307	84	2	53	32	1, 287	53	15	36	38
		101. 2	94. 0	6. 0	0. 1	3. 8	2. 3	92. 5	3. 8	1. 1	2. 6	45. 2
6	1, 237	1, 238	1, 161	77	3	33	41	1, 129	63	10	36	28
		100. 1	93. 8	6. 2	0. 2	2. 7	3. 3	91. 2	5. 1	0. 8	2. 9	36. 4
7	1, 267	1, 221	1, 154	67	2	45	23	1, 110	73	9	29	33
		100. 1	94. 5	5. 5	0. 2	3. 7	1. 9	90. 9	6. 0	0. 7	2. 4	49. 2

タ ハイリスク妊産婦（特定妊婦を含む）への支援（こども家庭課）

妊娠届出および転入した妊婦のハイリスク状況：

（単位：件・人・％）

区分 年度	妊娠届出	転入した妊婦	合 計	ハイリスクケース	
				人数	割 合
令和 3	1, 531	100	1, 631	683	41. 9
4	1, 436	92	1, 528	713	46. 7
5	1, 319	72	1, 391	648	46. 6
6	1, 356	55	1, 411	704	49. 9
7	1, 295	65	1, 360	655	48. 2

令和 7 年度ハイリスク妊婦（実人数 655 人）の内訳：

（単位：人）

ハイ リス ク 区 分	10 代	35 歳 以 上 初 産 婦	40 歳 以 上	喫 煙	多 胎	精 神 疾 患	妊 娠 回 数	未 婚 ・ 未 入 籍	24 週 以 降 の 届 け 出	経 済 的 困 難	外 国 人	援 助 者 な し	望 ま ない 妊 娠	そ の 他
延人数	19	81	47	33	17	111	3	126	23	237	133	59	10	312

実施状況：

（単位：人・件・回）

区分 年度	支援 プラン 作成	家庭訪問						来所相談		電話相談		関係機 関連絡	ケー ス会 議
		妊婦		産婦		乳幼児等		妊産婦		妊産婦			
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
令和 3	372	36	51	57	71	48	58	143	169	602	762	521	9
4	487	56	72	65	90	55	77	193	227	875	1, 257	720	25
5	476	83	107	86	135	77	112	217	241	981	1, 395	852	38
6	394	92	113	62	70	66	76	260	300	902	1, 257	612	47
7	655	58	65	21	21	14	15	154	166	548	691	458	56

チ 特定妊婦への支援(こども家庭課)

目 的：妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする妊婦を特定妊婦とし、安定した妊娠出産・育児を迎えるための相談・支援を行う。

実施状況： (単位：人・件)

区分 年度	対象者	支援方法（重複あり）							
	実人数	家庭訪問	電話相談	来所相談	健診相談 ※ ¹	関係機関 連 絡	医療機関 連絡 ※ ²	実務者 会 議	ネットワー ク 会 議
令和 3	43	89	160	70	6	138	51	10	8
4	41	114	369	88	12	337	44	10	25
5	36	175	347	86	12	355	66	10	36
6	38	122	240	96	17	201	56	10	39
7	20	58	197	43	13	130	53	10	25

※¹ 健診相談は、妊婦健康診査の受診介助を含む

※² 医療機関連絡は、妊産婦及び母子支援連絡票の送付数

ツ 妊産婦及び母子支援ネットワーク(こども家庭課・地域保健課)

目 的：特定妊婦等、気になる妊産婦や母子の早期発見や早期介入を行い、安心して出産・育児ができるよう医療機関と行政関係者が連携し、妊娠・出産・育児期にかかる切れ目のない支援をするため、妊産婦及び母子支援連絡票を活用する。

対 象：特定妊婦等、出産後の子どもの養育について妊娠期から継続的な支援を特に必要とする者
運用状況： (単位：件)

区分 内訳	妊産婦及び母子支援連絡票		妊産婦及び 母子支援報告票	その他 小児科等	
	妊婦	産婦・乳幼児		小児科	精神科
医療機関→富士市	8	272	0	63	0
富士市→医療機関	84	0	248	53	0

テ 富士市内産科医療機関及び助産所等情報交換会(こども家庭課)

目 的：市内産科医療機関及び助産所等の専門職(助産師、看護師等)と市保健師等が妊産婦支援に関する情報を共有し、胎児・乳児の虐待予防に努めるとともに、産前・産後ケアの充実を図る。また、関係機関と顔の見える関係を築き、より良い連携を図る。

実施状況：令和 8 年 2 月 19 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分（消防防災庁舎 3 階研修室）
参加者 26 人

ト 多胎妊婦交流会(こども家庭課)

目 的：多胎妊娠の妊婦が多胎育児をイメージしながら安心して出産し、育児を行うことができるよう、多胎育児経験者との交流や専門職による相談等を行う。

スタッフ：助産師、多胎子育て経験者（フジツインパワーズ）、保健師

実施状況：年 3 回 (単位：人)

区分 日程	妊婦	家族（夫 他）
5 月 17 日（土）	1	1
8 月 30 日（土）	3	3
12 月 26 日（金）	2	1

ナ 産前・産後サポート事業(こども家庭課)

目 的：妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師等の専門家や子育て経験者等の相談しやすい「話し相手」による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立感の解消を図り、健やかな育児ができるよう支援する。

スタッフ：助産師、子育て経験者

【会場：菜桜助産所】(回数：年 48 回)

実施状況

(単位：組・人)

	参加組数 (延)	参加人数 (延)	参加内訳					
			妊婦	産婦	父	その他	乳児	幼児
令和 3	383	781	11	373	1	—	353	43
4	477	956	14	463	0	—	446	33
5	279	557	39	238	1	—	232	47
6	244	494	9	236	2	—	232	15
7	414	838	8	405	8	1	393	23

【会場：月のおうち】(回数：年 36 回)

実施状況

(単位：組・人)

	参加組数 (延)	参加人数 (延)	参加内訳					
			妊婦	産婦	父	その他	乳児	幼児
令和 7	476	945	22	454	5	2	461	1

【会場：岩松・青葉台まちづくりセンター】(回数：年 48 回)

実施状況

(単位：組・人)

	参加組数 (延)	参加人数 (延)	参加人数内訳					
			妊婦	産婦	父	その他	乳児	幼児
岩 松	348	744	7	338	34	13	352	0
青 葉 台	280	589	1	277	22	4	285	0
合 計	628	1,333	8	615	56	17	637	0

【相談内容】

(単位：件)

	基本的生活習慣			発育・発達				医学的問題	環境	育児方法	保育の機構	その他	身体計測	合計
	睡眠	食事	排泄	身体	言葉	社会性	あそび							
菜桜助産所	49	68	16	49	15	14	32	3	26	23	37	3	127	462
月のおうち	39	83	10	39	0	9	0	6	0	19	10	14	66	295
岩 松	9	26	0	18	0	4	5	0	13	2	6	14	226	323
青 葉 台	12	27	2	18	0	10	4	1	12	10	8	20	166	290
合 計	109	204	28	124	15	37	41	10	51	54	61	51	585	1,370

二 産後ケア事業(こども家庭課)

目 的：市内産科医療機関や助産所に一定期間宿泊、日帰り又は訪問することにより、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を高め、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。

対 象：生後1歳までの乳児と母親

実施状況： (単位：人・日・件・%)

区分 年度	実 人数	宿泊			日帰り		日帰り 2時間		訪問		申請理由（重複あり）					
		実 人数	延 人数	延 日数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	レス パイ ト (休養)	体 調 不 良	母 乳 育 児 ケ ア	授 乳 や 育 児 等 の 指 導	育 児 不 安	そ の 他
令和 3	296	28	31	95	87	197	-	-	253	672	134	10	452	390	26	0
											13.2	1.0	44.7	38.5	2.6	0.0
4	301	22	22	66	134	291	-	-	265	627	207	7	528	499	17	3
											16.4	0.6	41.9	39.6	1.3	0.2
5	295	30	31	85	128	299	115	211	131	371	216	6	444	407	13	3
											19.8	0.6	40.8	37.4	1.2	0.3
6	328	38	45	131	111	230	179	365	199	445	161	13	590	411	105	44
											12.2	1.0	44.6	31.0	7.9	3.3
7	421	38	42	100	158	399	195	369	235	532	238	37	841	679	156	16
											12.1	1.9	42.8	34.5	7.9	0.8

ヌ はぐくむ FUJI 家事育児サポート事業(こども家庭課)

目 的：家事や育児の支援が必要な家庭に対して、家事、育児支援者（ヘルパー等）を派遣し、家事や育児の援助を行うことにより、対象者の負担や不安を軽減し、健やかな育児ができるよう支援する。

対 象：妊婦、2歳未満の乳児と同居している養育者、3歳未満の多胎児と同居している養育者

実施状況： (単位：件・人・時間)

区分 年度	申請数	利用実人数	利用時間
令和3	243	20	186
4	378	43	546
5	405	54	1,032
6	190	93	1,237
7	292	166	3,194

再掲) 多胎利用状況：

(単位：人・時間)

年度	区分	妊婦	0-1 歳	1-2 歳	2-3 歳	合計
	時間	時間	時間	時間	時間	時間
令和 3		0	1	1	0	2
		0	13	5	0	18
4		2	2	1	0	5
		7	46	8	0	61
5		0	8	2	1	11
		0	123	38	22	183
6		0	1	3	1	5
		0	5	99	26	130
7		7	23	4	17	51
		63	355	56	126	600

ネ 初回無料チケット配付事業(こども家庭課)

(ア) 産後ケア事業

目 的：出産後から 1 年未満の母親が、産後ケア事業を気軽に体験できるように、初回に限り無料で利用できる訪問または日帰り 2 時間利用チケットを妊産婦に配付し、産後ケア事業の利用者数を増やし、地域の助産師に心身のケアをしてもらうことで、母子とその家族が健やかな育児や生活ができるよう支援する。

対 象：妊娠届出または転入をした妊婦

実施状況： (単位：件)

年度	区分	訪問	日帰り 2 時間
令和 6		130	65
7		180	114

(イ) はぐくむ FUJI 家事育児サポート事業(こども家庭課)

目 的：はぐくむ FUJI 家事育児サポート事業実施要領に基づき、妊娠中から出産後 2 年未満の母親または 3 歳未満の多胎児を養育中の母親が、気軽に家事育児サポートを体験できるように、2 時間分無料で利用できるチケットを妊産婦に配付し、家事育児サポートの利用者数を増やし、地域の家事育児サポーターに家事や育児のサポートをしてもらうことで、母子とその家族が健やかな育児や生活ができるよう支援する。

対 象：妊娠届出をした妊婦、本市に転入した妊婦

実施状況： (単位：人・時間)

年度	区分	利用実人数	利用時間
令和 6		64	122
7		123	233

ノ はぐくむ FUJI 出産・子育て応援事業（令和 5 年 1 月～令和 6 年度）（こども家庭課）

目的：出産育児関連用品の購入費、妊娠期及び子育て期における支援サービスに係る利用者負担等の軽減を図るため、妊婦及び子育て家庭に対し、経済的支援として応援金を交付する。また、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠期から出産・子育て期までの相談支援を充実させ、希望者に8か月相談を実施する。

対象：出産応援金：妊娠届出の面接を受けた妊婦
子育て応援金：出産後、乳児家庭全戸訪問を受けた産婦

（ア）はぐくむ FUJI 出産・子育て応援金支給状況：

（単位：件・円）

年度	区分	種別	支給件数	1人あたり支給額	支給金額合計
令和 5		出産応援金	1,338	50,000	66,900,000
		子育て応援金	1,408	50,000	70,400,000
6		出産応援金	1,332	50,000	66,600,000
		子育て応援金	1,275	50,000	63,750,000
7		出産応援金	27	50,000	1,350,000
		子育て応援金	184	50,000	9,200,000

※令和 7 年度は令和 6 年度継続分

（イ）妊娠 8 か月相談実施状況：

（単位：人・％）

年度	区分	対象者数	アンケート		訪問	面接	電話
			回収数	回収率			
令和 5		1,273	1,042	80.9	5	73	135
6		1,204	990	82.2	10	26	190
7		1,310	1,310	100%	50	129	1,074

ハ はぐくむ F U J I 妊婦支援金給付事業（令和 7 年 4 月事業開始）

目的：「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、妊婦支援金の給付を実施する。本事業において、児童福祉法に基づく妊婦等包括相談支援事業等と効果的に連携し、妊娠期からの切れ目ない支援体制を構築することで、妊婦の心身のケアおよび経済的支援を図ることを目的とする。

対象：妊娠届を提出された方、または妊娠が確認できる方（流産・死産を経験された方を含む）

（ア）はぐくむ F U J I 妊婦支援金支給状況

年度	区分	申請人数（人）	妊婦支援金（1回目）		妊婦支援金（2回目）		合計額（円）
			申請数	金額（円）	申請数	金額（円）	
令和 7		2,876	1,382	69,100,000	1,636	81,800,000	150,900,000

ヒ はぐくむ FUJI 出産特別お祝い金（令和 7 年度事業）

目的：本市で誕生したお子さんの健やかな成長を願い、出産された母親への感謝と祝福の意を伝えるとともに、安心して出産・子育てができる環境を市民が実感できるよう、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

対象：令和7年4月1日以降に出生した子の養育者

実施状況

年度	区分	申請人数（人）	1人目（人）		2人目（人）		合計額（円）
			申請数	1人あたり支給額（円）	申請数	1人あたり支給額（円）	
令和 7		1,064	1,064	100,000	10	150,000	107,900,000

【多胎児（双子など）の場合】

1人目 10万円 / 2人目 15万円（計 25万円）※2人目以降の加算は、同時に出生した多胎児が対象

フ 出生届出時面接(こども家庭課)

目 的：富士市で出生した母子が安心して過ごせるように、出生届出時に面接をし、出生通知書で赤ちゃんの出生状況や産婦の健康状態を把握し、母子を支える家族の支援体制等を確認し、必要な支援につなげる。子育て総合相談センター、母子保健事業、子育て支援事業の紹介をする。

実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	出生数	面接数	実施率
令和3	1,556	1,551	99.7
4	1,466	1,459	99.5
5	1,386	1,366	98.6
6	1,242	1,210	97.4
7	1,264	1,262	99.8

ヘ 転入届出時面接(こども家庭課)

目 的：富士市に転入してきたこどものいる世帯が安心して子育てができるよう、母子保健事業の紹介、子育て支援事業の紹介をする。育児状況等の面接をし、支援が必要な世帯は、地域保健課の地区担当保健師や関係機関につなぐ。

実施状況： (単位：人)

区分 年度	面接数	(再掲)		
		乳児	幼児	就学児以上
令和3	973	124	481	368
4	903	107	452	344
5	817	110	395	312
6	830	100	343	387
7	682	96	318	268

ホ 妊娠・出産・子育て相談(こども家庭課)

目 的：妊娠・出産・子育てに関するワンストップの相談窓口として相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師、保育士

実施状況： (単位：件)

区分 年度	来所相談	電話相談
令和3	153	265
4	162	265
5	44	91
6	21	46
7	17	25

マ 子育て支援センター等訪問相談

目 的：児の身体測定及び育児の相談支援を行い、社会資源の周知や関係機関につなぐ。

スタッフ：保健師、保育士

実施状況： (単位：回・人・件)

年度 \ 区分	訪問回数	周知人数	相談
令和 5	30	187	50
6	24	263	27
7	16	139	5

ミ 妊娠 SOS 相談(こども家庭課)

目 的：望まない妊娠等、妊娠に関する何らかの問題を抱えた方への相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師

実施状況： (単位：件)

年度 \ 区分	来所相談	電話相談	デジタル相談
令和 3	0	20	－
4	0	3	－
5	4	4	－
6	2	7	1
7	3	3	4

ム 流産・死産相談(こども家庭課)

目 的：流産・死産で何らかのこころ等の問題を抱えた方への相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師

実施状況： (単位：件)

年度 \ 区分	来所相談	電話相談	デジタル相談
令和 3	0	3	5
4	0	1	3
5	2	23	1
6	0	7	4
7	11	24	19

※令和 5 年度から、妊娠 8 か月アンケート送付前に、妊娠継続の有無を確認している。

(4) 乳児保健

ア 乳児健康診査

目 的：身体発育・運動機能・精神発達の遅滞等障害を持った児を早期に発見し、心身障害の進行を防止するとともに、母子関係の確立、乳児の栄養、事故防止、予防接種、その他育児に関する適切な指導が受けられるよう公費による乳児健康診査を委託医療機関において実施し、乳児と保護者の健康の保持増進を図る。

対 象：1 か月児、4 か月児、10 か月児（里帰り含む）

内 容：身体が発達及び栄養状況・身体の疾病及び異常の有無、運動機能・神経学的発達の状況及び異常の有無、予防接種の実施状況、事故防止の実施状況、その他の育児上問題となる事項の有無

実施状況：

（単位：人・％）

区分 年度		対象数	受診数	受診率	受 診 結 果				
					異常なし	要観察	要訪問	要精密	要治療
1 か 月 児	令和 7	1, 258	1, 202	95. 5	1, 025	86	0	41	50
					85. 3	7. 1	0	3. 4	4. 2
4 か 月 児	令和 3	1, 556	1, 507	96. 9	1, 382	57	0	26	42
					91. 7	3. 8	0. 0	1. 7	2. 8
	4	1, 505	1, 483	98. 5	1, 340	69	0	25	49
					90. 4	4. 7	0. 0	1. 6	3. 3
	5	1, 428	1, 388	97. 2	1, 273	66	0	18	31
					91. 7	4. 8	0. 0	1. 3	2. 2
	6	1, 304	1, 244	95. 4	1, 112	63	0	22	47
					89. 4	5. 0	0. 0	1. 8	3. 8
10 か 月 児	令和 3	1, 610	1, 499	93. 1	1, 354	100	0	11	34
					90. 3	6. 7	0. 0	0. 7	2. 3
	4	1, 556	1, 481	95. 1	1, 322	107	0	19	33
					89. 3	7. 2	0. 0	1. 3	2. 2
	5	1, 474	1, 391	94. 4	1, 264	80	0	8	39
					90. 9	5. 7	0. 0	0. 6	2. 8
	6	1, 354	1, 302	96. 2	1, 179	78	0	16	29
					90. 6	6. 0	0. 0	1. 2	2. 2
	7	1, 303	1, 205	92. 5	1, 078	73	0	16	38
					89. 5	6. 1	0	1. 3	3. 1

※令和 7 年度から 1 か月児健康診査を開始。

下段は受診結果割合

(ア) 4 か月児栄養方法

（単位：人・％）

区分 年度		母 乳		混 合		人 工		未記入	合 計
		実 数	割 合	実 数	割 合	実 数	割 合		
令和 3		434	28. 8	483	32. 1	577	38. 3	13	1, 507
4		383	25. 8	466	31. 4	619	41. 7	15	1, 483
5		312	22. 5	440	31. 7	623	44. 9	13	1, 388
6		274	22. 0	386	31. 0	576	46. 3	8	1, 244
7		299	23. 8	386	30. 8	555	44. 2	15	1, 255

(イ) 4 か月児健診虐待項目該当者への支援

- 目 的：4 か月児健康診査後、虐待の早期発見・早期支援を行う。
 対 象：4 か月児健康診査の虐待問診項目に該当する記載があった家庭
 内 容：①乳幼児及び保護者の心身の状況、養育環境の把握
 ②育児に関する不安や悩みの相談
 ③関係機関との連絡調整

実施状況：

(単位：人)

区分 年度	対象者	対応方法		
		訪問	電話	来所相談
令和 3	40	3	16	21
4	46	5	11	30
5	44	3	7	34
6	29	1	12	16
7	27	4	15	8

イ 離乳食講習会・オンライン離乳食講習会

- 目 的：離乳期の乳児を持つ保護者に対し講習会を実施することにより、児の発育及び発達状況に応じた離乳食の正しい知識を普及する。
 対 象：初期・中期 生後 3～6 か月頃の児を持つ保護者
 後期・完了期 生後 8 か月以降の児を持つ保護者
 内 容：離乳食に関する講義、離乳食の作り方紹介、個別相談、手遊び
 会場参加のみ試食(令和 5 年 8 月から再開)

スタッフ：栄養士、保育士

実施回数：36 回

実施状況：

(単位：回・人)

区分 年度	初期		中期		後期		完了期	
	回 数	出席者数	回 数	出席者数	回 数	出席者数	回 数	出席者数
令和 3	21	241	11	106	10	60	10	41
4	24	347	12	144	12	105	12	52
区分 年度	初期		中期		後期・完了期			
	回 数	出席者	回 数	出席者	回 数	出席者		
令和 5	24	356	12	188	12	142		
6	24	379	12	190	12	159		
区分 年度	初期・中期			後期・完了期				
	回 数		出席者	回 数		出席者		
令和 7	24		399	12		107		

※令和 4 年度 9 月からオンライン講習会を開始。

※令和 5 年度から後期・完了期をまとめて実施。

※令和 7 年度から初期・中期をまとめて実施。

ウ 6 か月児すくすく赤ちゃん講座

目 的：発達発育に個人差が出はじめ、離乳食の開始等、様々な変化が現れてくる生後 6 か月の
児と保護者を対象に、適切な養育、保護者自身の健康管理、保護者と児の正しい生活習
慣の獲得のための知識と情報を提供し支援する。

対 象：6 か月になる児とその保護者

内 容：身長・体重測定、食育と育児の話、健康・育児・栄養相談

スタッフ：保健師、栄養士、保育士、事務職員

実施回数：年 30 回

実施状況： (単位：人・％・件)

区分 年度	対象者数	出席者数	出 席 率	相 談 結 果	
				助 言	経過観察
令和 3	1,082	1,049	97.0	741	308
4	1,522	1,438	94.5	992	446
5	1,426	1,368	95.9	957	411
6	1,305	1,272	97.5	846	426
7	1,270	1,186	93.4	717	469

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 3 年度は 12 回中止した。

※令和 3 年度は、講座中止期間の対象者に対して、個別支援を以下のとおり実施した。

令和 3 年度 講座中止対象者 (12 回分)・未受講者支援状況： (単位：人・％)

対象者数	対応者数	対応方法	相 談 結 果	
			助 言	経過観察
中止対象者 517 未受講者 55	567 (対応率 99.1)	電話 467、訪問 31、来所 69	438	129

エ 子育て相談

実施状況： (単位：件)

区分 年度	妊 産 婦		乳 児		幼 児	
	来 所	電 話	来 所	電 話	来 所	電 話
令和 3	203	324	312	834	269	747
4	156	362	328	635	361	960
5	92	288	260	457	302	874
6	126	307	275	453	200	707
7	166	423	268	482	232	1,139

(5) 幼児保健

ア 1歳6か月児健康診査

目 的：幼児初期の身体発育・精神発達の中で、歩行や言語などの発達の標識が容易に得られる1歳6か月児のすべてに対して健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を持った幼児を発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養及び育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対 象：満1歳6か月を超え、満2歳に達しない幼児

内 容：一般健康診査、歯科健康診査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：小児科医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数 33 回

(ア) 受診状況と一般健康診査結果

(単位：人・%)

年度	区分	対象数	受診数	受診率	有 所 見		有 所 見 内 訳			再 掲
					実 数	率	身体面	精神面	身体精神面	
令和 3		1,829	1,814	99.2	1,043	57.5	515	282	246	239
4		1,714	1,689	98.5	1,014	60.0	405	343	266	407
5		1,555	1,547	99.5	962	62.2	380	331	251	327
6		1,534	1,502	97.9	971	64.6	327	391	253	379
7		1,308	1,297	99.2	749	57.7	234	357	158	378

(イ) 一般健康診査の事後指導の内訳

(単位：人・件)

年度	区分	精 密 健 康 診 査		こども発達センター	指導及び経過観察			
		受診券発行	こども病院紹介	紹介・継続	おやこ相談	家庭訪問	電話連絡等	延件数
令和 3		18	0	45	13	71	608	692
4		15	3	47	12	44	658	714
5		24	1	41	10	28	662	700
6		24	0	29	9	29	719	757
7		11	3	7	12	14	631	664

(ウ) 精密健康診査受診結果

(単位：人)

区分	異常なし	要観察	要精密	要治療	未受診	合 計
受 診 券 発 行	0	6	0	2	3 (含転出 1)	11
こども病院紹介	0	2	1	0	0	3
合 計	0	8	1	2	3	14

(エ) 歯科健康診査結果

(単位：人・％・本)

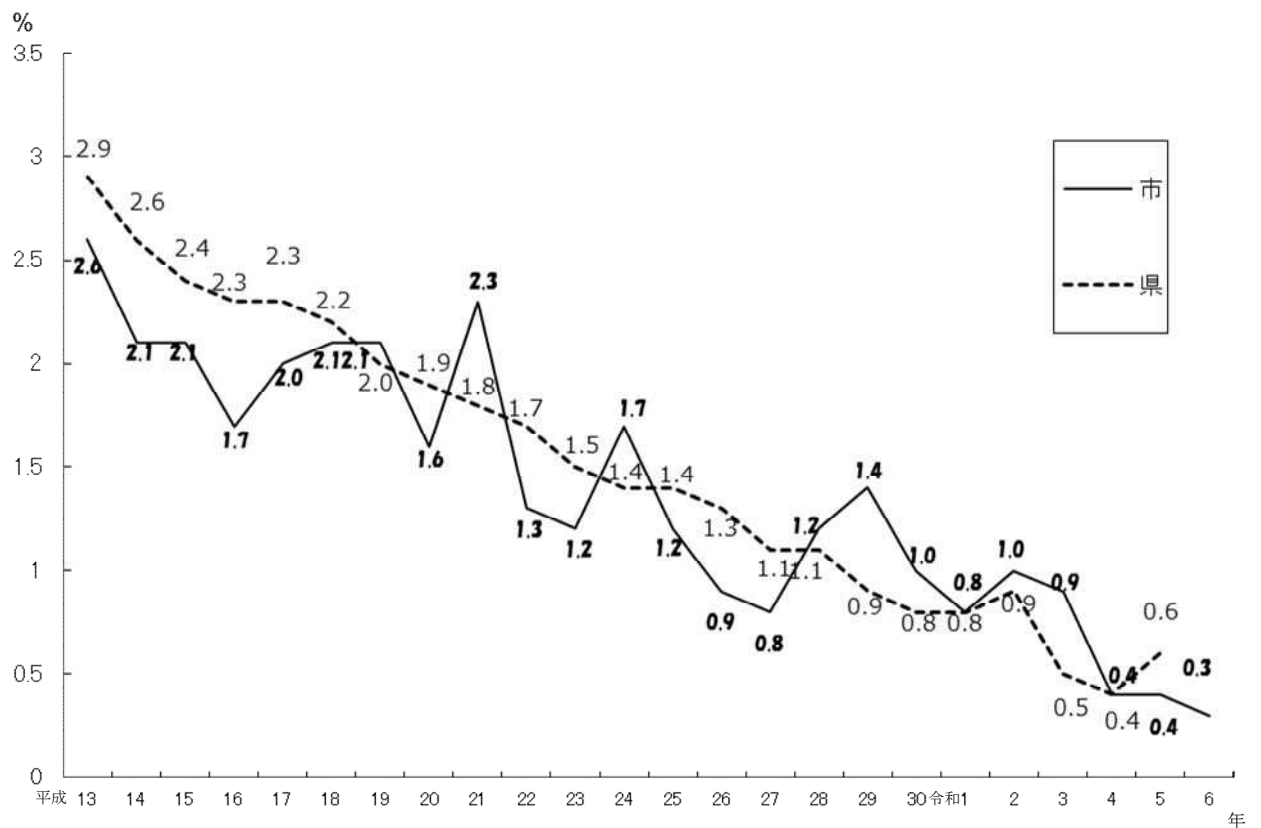
区分 年度	受診数	う歯有病者		う歯本数	1人平均 う歯本数	う歯の患型				歯列等の異常	
		人数	率			O2	A	B	C	反対咬合	その他
令和3	1,813	17	0.9	54	0.03	116	13	3	1	72	379
4	1,689	7	0.4	24	0.01	93	6	0	1	88	223
5	1,547	6	0.4	16	0.01	73	5	1	0	63	228
6	1,502	5	0.3	16	0.01	40	5	0	0	56	271
7	1,297	4	0.3	13	0.01	24	3	1	0	61	253

(オ) 歯の健康管理上不適切な習慣やしつけ

(単位：人・％)

区分 年度	指しゃぶり	仕上げみがきを しない	歯に関するしつけの悪い習慣			
			ジュース・乳酸 飲料を毎日飲む	母乳	哺乳瓶	おやつ時間を 決めていない
令和3	592(32.7)	69(3.8)	658(36.3)	254(14.0)	224(12.4)	592(32.7)
4	591(35.0)	67(4.0)	587(34.8)	228(13.5)	282(16.7)	584(34.6)
5	606(39.2)	73(4.7)	496(32.1)	181(11.7)	280(18.1)	558(36.1)
6	634(42.2)	54(3.6)	386(25.7)	186(12.4)	281(18.7)	507(33.8)
7	534(41.1)	42(3.2)	326(25.1)	154(11.9)	237(18.3)	471(36.3)

(カ) う歯有病者率の推移



イ 3歳児健康診査

目 的：幼児期において幼児の健康・発達の個人差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす3歳児のすべてに対して健康診査を行い、視覚・聴覚・運動・発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、う蝕の予防・発育・栄養・生活習慣・その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対 象：満3歳を超え、満4歳に達しない幼児

内 容：一般健康診査、歯科健康診査、眼科健康診査、眼科屈折検査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：医師、歯科医師、保健師、看護師、視能訓練士、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数 38 回

(ア) 受診状況と一般健康診査結果

(単位：人・%)

年度 区分	対象数	受診数	受診率	有 所 見		有所見内訳			再掲 育 児 状況等	再 掲	
				人数	率	身体面	精神面	身 体 精神面		肥満度 15%以上	
										人数	割合
令和 3	1,838	1,815	98.7	1,191	65.6	1,020	50	121	178	91	5.0
4	1,771	1,746	98.6	1,047	60.0	821	76	150	194	75	4.3
5	1,800	1,791	99.5	1,039	58.0	813	83	143	213	102	5.7
6	1,764	1,736	98.4	1,101	63.4	854	88	159	185	108	6.2
7	1,521	1,501	98.7	879	58.6	477	185	217	232	70	4.7

(イ) 一般健康診査の事後指導の内訳 (各年度 3 月末現在)

(単位：人・件)

区分 年度	精 密 健康診査	こども発達 セ ン タ ー 紹介・継続	おやこ相談	指導及び経過観察		延べ件数
				家庭訪問	電話連絡等	
令和 3	327	132	3	15	85	562
4	281	160	2	14	106	563
5	274	162	5	22	99	562
6	316	147	5	9	149	626
7	265	142	6	12	217	642

(ウ) 精密健康診査(眼科健診以外)

(単位：人)

区分 年度	異 常 な し	要 観 察	要 検 査	要 治 療	合 計
令和 3	47	24	2	2	75
4	44	11	3	2	66
5	32	11	7	0	50
6	43	9	1	0	53
7	30	15	0	1	46

(エ)眼科健診結果

(単位：人)

区分 年度	眼科健診 受診数	異常なし	既医療・ 経過観察	要精密健康診査	要精密結果		
					問診	屈折異常の 疑い	検査不可 (判定不能)
令和 3	1,815	1,497	21	297	144	151	2
4	1,745	1,427	44	274	123	140	11
5	1,791	1,496	30	265	118	145	2
6	1,736	1,399	28	309	120	178	11
7	1,501	1,214	26	261	122	131	8

※令和 3 年度から医師診察の代わりにスポットビジョンスクリーナーを導入し問診からも精密検査へつなげた。

○精密健康診査結果(眼科健診)(各年度 3 月末現在)

(単位：人・％)

区分 年度	異 常 な し		要 観 察		要 検 査		要 治 療		合 計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
令和 3	104	46.6	73	32.7	26	11.7	20	9.0	223	100
4	74	38.4	73	37.8	18	9.3	28	14.5	193	100
5	62	38.5	57	35.4	12	7.5	30	18.6	161	100
6	75	37.7	69	34.7	25	12.6	30	15.1	199	100
7	57	35.8	65	40.9	18	11.3	19	11.9	159	100

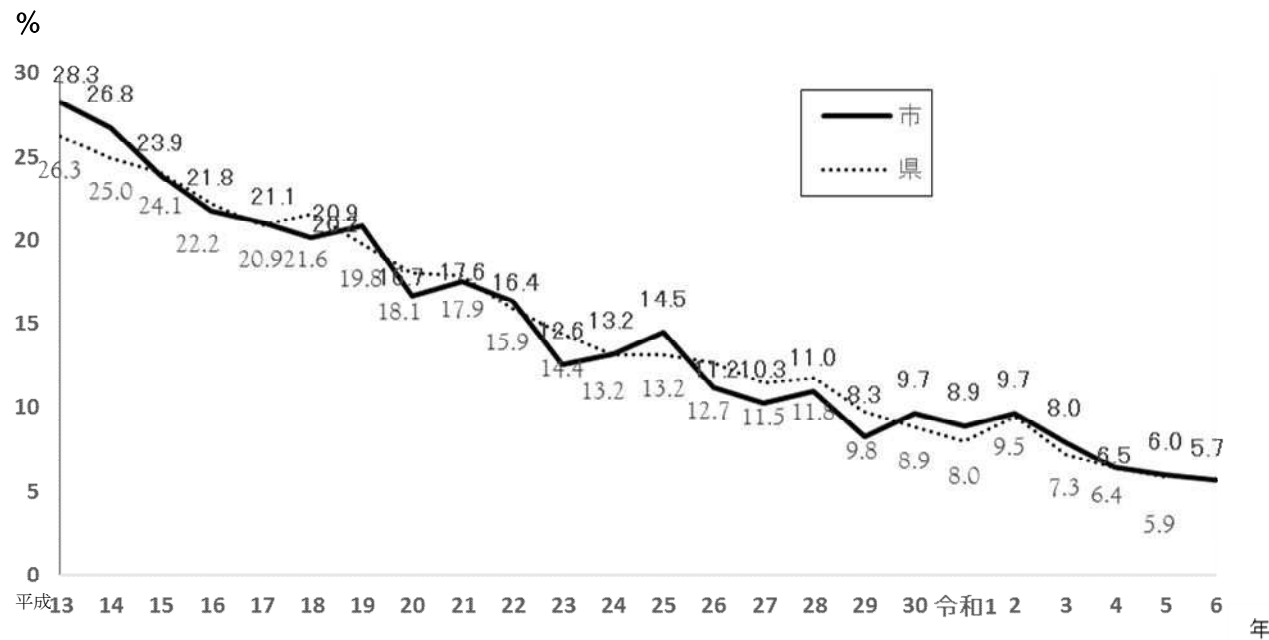
(オ)歯科健診結果

(単位：人・％・本)

区分 年度	受診数	う歯有病者		う歯の数		1 人平均 う歯本数	う歯り患型			不正咬合 のある者	口腔軟組織に 疾患のある者
		人数	率	未処置	処置		A	B	C		
令和 3	1,815	146	8.0	545	23	0.31	104	30	12	268	7
4	1,746	114	6.5	361	46	0.23	81	27	6	237	3
5	1,791	107	6.0	318	16	0.19	82	20	5	297	3
6	1,736	99	5.7	288	14	0.17	76	18	5	295	0
7	1,500	57	3.8	164	14	0.12	43	12	2	233	0

※う歯り患型 A 上顎前歯部のみまたは臼歯部のみのむし歯、B 上顎前歯部および臼歯部にむし歯のあるもの、C 1 下顎前歯部のみにむし歯のあるもの、C2 下顎前歯部を含む他の部位にむし歯のあるもの

(カ) う歯有病者率の推移



ウ 5 歳児健康診査

目 的：幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性の高まり、発達障害が認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健康診査を行い、こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。

対 象：満4歳半を超え、満5歳半に達しない幼児

内 容：一般健康診査、眼科健診、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：小児科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、視能訓練士、保育士、心理職、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、事務職員

実施回数：実施回数 38 回

相談体制：歯科医師会（契約に基づくフッ化物歯面塗布の指示、緊急時対応の電話相談）

研修体制：オブザーバーによる視察 1 回、研修会 3 回

(ア) 受診状況と一般健康診査結果

(単位：人・%)

区分 年度	対象 数	受診者		未受診		有 所 見		有 所 見 内 訳			
		実数	率	既療 育	率	実 数	率	既医療	要医療	既療育	経過観察
令和 7	1,584	1,442	91.0	71	4.5	935	65.8	132	115	109	579

(イ)子育て支援の判定

(単位：人・%)

区分 年度	支援なし	支援あり	支援あり（再掲）				
			園との情 報共有	園訪問	おやこ 相談	発達センター	
						紹介	継続
令和 7	1,022 (71.9)	400 (28.1)	250	72	6	24	48

(ウ)専門相談実績

(単位：件)

区分 年度	専門相談		
	栄養相談	心理相談	療育相談
令和 7	134	128	106

(エ)精密健康診査受診結果（眼科健診以外）（3月末現在）

(単位：人)

区分 年度	異常なし	要観察	要精密	要治療	未受診	合 計
令和 7	0	1	1	0	1	3

(オ)眼科健診結果

(単位：人)

区分 年度	眼科健診 受診数	異常なし	既医療・ 経過観察	要精密 健康診査	要精密の理由（再掲）	
					問診	屈折異常の 疑い
令和 7	1,422	1,242	68	112	38	74

(カ)精密健康診査受診結果（眼科健診）（3月末現在）

(単位：人)

区分 年度	異常なし		要観察		要精密		要治療		合 計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
令和 7	41	64.1	14	21.9	1	1.6	8	12.5	64

エ 健診事後個別相談「おやこ相談」

目 的：乳幼児の健全な成長発達を促し、保護者が安心して子育てできるよう、個別に心理発達相談員による相談を実施する。

対 象：就園前の乳幼児と保護者

内 容：乳幼児の発達障害の早期発見と早期支援、保護者への子育て支援

スタッフ：心理職

実施状況：

(単位：人)

区分 年度	実施人数 (実)	実施人数 (延べ)	保護者への 子育て支援	乳幼児の発達や 生活面
令和 3	51	57	21	36
4	41	43	15	28
5	55	58	28	30
6	49	52	21	31
7	50	58	26	32

結 果：

(単位：人)

区分 年度	終了	おやこ 相談継続	こども 発達センター 紹介	こども 家庭課 紹介	保健事業 経過観察	おやこ (にこにこ) 教室	合 計
令和 3	7	7	6	4	27	6	57
4	8	0	12	1	13	9	43
5	9	2	5	1	29	12	58
6	4	1	7	0	26	14	52
7	14	3	4	3	21	13	58

オ 幼児発達支援事業「おやこ（にこにこ）教室」

目 的：発達面で気になる児の経過観察と保護者への育児支援を行い、この時期に必要な愛着形成や自己肯定感の確立を目指し、親子の健やかな成長を促す。

対 象：1歳6か月児健診又は健康相談（おやこ相談、電話・来所相談）等で把握された次のような親子を対象とする。

- ① 発達面のフォローが必要と思われる親子
- ② 育児環境面で支援が必要と思われる親子
- ③ その他、保健師・心理職の判断により支援が必要と思われる親子

内 容：手遊び、親子遊び、絵本、課題遊び等、親子の成長が期待できるようなプログラムを検討し実施する。

スタッフ：心理職、保育士、保健師

実施状況： (単位：回・人)

区分 年度	実施回数	対象実人数	実施延人数
令和 3	9	28	85
4	12	42	180
5	12	58	191
6	12	59	191
7	12	59	210

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度は3回中止した。

カ こども発達センター（からあ）紹介状況

乳幼児期において、発達上早期療育が必要と思われる児や療育相談を希望する保護者などに、こども発達センター（からあ）を紹介している。

(ア)相談受理数

(単位：人)

区分 年度	保 健 事 業	経 過 観 察 後	家族から連絡	合計
令和 3	48	53	2	103
4	58	63	7	128
5	52	33	4	89
6	58	48	7	113
7	68	49	5	122

(イ) 結 果

(単位：人)

把握経路 相談結果	保 健 事 業	経 過 観 察 後	家族から連絡	合計
異 常 を 認 め ず	2	3	0	5
精 神 発 達 遅 滞	15	13	1	29
自 閉 症 及 び そ の 疑 い	31	23	4	58
言 語 発 達 遅 滞	4	2	0	6
構 音 障 害	4	0	0	4
肢 体 不 自 由	0	0	0	0
A D H D 及 び そ の 疑 い	6	3	0	9
運 動 発 達 遅 滞	0	0	0	0
発 達 全 体 の 遅 れ	0	0	0	0
そ の 他	5	4	0	9
キ ャ ン セ ル	1	1	0	2
合 計	68	49	5	122

※ 予約キャンセルケースには、保健師・心理職による経過観察・フォロー等を行っている。

キ フッ化物利用推進事業

目 的：幼児期からのむし歯予防(乳歯および永久歯の歯質の強化、初期むし歯の再石灰化の促進、歯垢中のむし歯原因菌の活動抑制を図ることにより、むし歯罹患リスクの減少)と自らの歯の健康意識の高揚を図る。

(ア) 1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査におけるフッ化物歯面塗布

対 象：1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査の受診者のうち、保護者が希望する者

内 容：フッ化物歯面塗布

スタッフ：歯科衛生士

実施状況：

(単位：人・%)

区分 年度	1 歳 6 か月児健康診査		3 歳児健康診査		5 歳児健康診査	
	歯科健診 受診数	塗布数	歯科健診 受診数	塗布数	歯科健診 受診数	塗布数
令和 3	1, 813	1, 542 (85. 1)	1, 815	1, 345 (74. 1)	－	－
4	1, 689	1, 614 (95. 6)	1, 746	1, 548 (88. 7)	－	－
5	1, 547	1, 456 (94. 1)	1, 791	1, 588 (88. 7)	－	－
6	1, 502	1, 411 (93. 9)	1, 736	1, 544 (88. 9)	－	－
7	1, 297	1, 210 (93. 3)	1, 500	1, 319 (87. 9)	1, 442	1, 157 (80. 2)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年 8～9 月、令和 4 年 1～3 月は幼児健診時のフッ化物歯面塗布を中止した。中止期間中の健診受診者には、別日程を設け希望者に実施した。

(イ) フッ化物利用推進講座

対 象：保育園・幼稚園等在園の4、5歳児とその保護者

内 容：フッ化物についての動画（DVD）視聴、質疑応答、ブラッシング指導、フッ化物洗口体験

スタッフ：園歯科医師、歯科衛生士

実施状況：

（単位：園・回・人）

区分 年度	全園数	実施園数	回数	出席者		
				園児	保護者	合 計
令和3	61	10	10	716	166	882
4	59	6	6	103	168	271
5	58	9	10	203	184	387
6	58	9	9	337	306	643
7	55	29	30	825	741	1,566

(ウ) 親子はみがき教室

対 象：保育園・幼稚園等在園の4、5歳児とその保護者

内 容：むし歯予防等の講話、歯垢染め出し体験、ブラッシング指導、
園歯科医師によるフッ化物利用推奨

スタッフ：園歯科医師、歯科衛生士

実施状況：

（単位：園・回・人）

区分 年度	全園数	実施園数	回数	出席者		
				園児	保護者	合 計
令和3	61	18	18	305	339	644
4	59	27	27	509	448	957
5	58	28	28	661	622	1,283
6	58	28	28	622	570	1,192
7	55	11	11	295	287	582

(エ) 4歳、5歳児への集団的フッ化物洗口法(週5日法)

対 象：フッ化物利用推進講座実施園に在園の4、5歳児のうち保護者が希望する者

内 容：フッ化物利用推進講座を経て、フッ化物洗口法(週5日法)

実施状況：

（単位：園・人）

区分 年度	全園数	実施園数	実施者		
			4歳	5歳	合 計
令和3	61	17	109	607	716
4	59	10	119	422	541
5	58	10	106	425	531
6	58	10	99	414	513
7	55	30	141	793	934

※ (イ)・(ウ)・(エ) の全園数は、保育対象年齢が3歳未満の「えのき保育園」「富士さくら保育園」の2園を除く。

(6) 訪問指導

目 的：乳幼児や保護者の健康状態を確認し、健やかな妊娠・出産・育児を支援する。

対 象：妊産婦、乳幼児及び保護者

内 容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問

実施状況： (単位：人)

区分 年度	総 数	妊 婦	産 婦	乳 児	幼 児	その他※
令和 3	4,206	13	1,718	1,762	349	364
4	3,940	4	1,636	1,730	342	228
5	3,841	10	1,520	1,581	330	400
6	3,466	1	1,429	1,506	219	311
7	3,662	2	1,441	1,317	334	568

※その他：父親・祖父母を含む

ア 乳児家庭全戸訪問事業

目 的：生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭に訪問し、不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握・助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切な支援を行う。

対 象：生後 4 か月までのすべての乳児

内 容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問

実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	対象者数	訪問数	実施率	新生児(再掲)
令和 3	1,590	1,556	97.9	19
4	1,543	1,506	97.6	12
5	1,409	1,399	99.3	24
6	1,291	1,263	97.8	19
7	1,279	1,255	98.1	17

新生児：生後 28 日以内

イ 未熟児訪問指導(地域保健課・こども家庭課)

目 的：未熟児は生理機能が未熟で疾病にかかりやすく、家庭環境に応じて適切な療育指導が必要になるため、児の健康状況の確認と保護者に対して育児支援を行う。

対 象：養育医療の申請に係る未熟児で、未熟児訪問依頼票が提出された児及び保護者、その他の未熟児(出生通知書・医療機関等より把握した者)

内 容：保健師・助産師による家庭訪問

実施状況： (単位：人)

区分 年度	対 象 数	訪 問 数	延べ訪問数
令和 3	136	134	138
4	135	129	131
5	140	138	142
6	111	108	109
7	139	135	141

ウ 養育支援訪問事業

目 的：乳幼児の養育について支援が必要と思われる家庭に対し、安定した養育ができるよう、訪問等による支援を行う。

内 容：保健師による家庭訪問等

実施状況： (単位：世帯・人・回)

年度	実世帯数	対象者		支援延べ回数
		乳幼児	妊婦	訪問(来所含む)
令和3	426	531	19	683
4	416	504	14	765
5	462	520	14	789
6	533	606	19	951
7	504	643	18	1,032

エ 乳幼児健康診査未受診者家庭訪問事業

目 的：乳幼児健康診査未受診の家庭に訪問し、乳幼児の発育の確認を行うとともに、育児不安や育児困難の保護者への支援を実施する。

対 象：保育園・幼稚園への通園が確認できない乳幼児健康診査未受診の家庭

内 容：①予防接種・健診受診の勧奨
②乳幼児・保護者の心身の状況及び養育環境の把握
③育児に関する不安や悩みの相談
④関係機関との連絡調整

実施状況： (単位：人・％・件)

区分 健診・講座	対象者数 (未受診者)	把握数					把握 割合	未把握数		訪問件数	
		家庭 訪問	電話 相談	来所 相談	受診	他 機関		転出 帰国	不在	日中	夜間
4 か 月 児 健 診	31	15	3	10	3	0	100.0	0	0	22	0
6 か 月 児 講 座											
6 か 月 児 講 座	8	5	0	1	0	0	75.0	2	0	9	1
10 か 月 児 健 診											
1歳6か月児健診	57	5	0	1	46	2	94.7	3	0	28	3
3 歳 児 健 診	99	11	0	3	72	6	92.9	7	0	30	8
合 計	195	36	3	15	121	8	93.8	12	0	89	12

オ 主任児童委員等による見守り活動

目 的：転入で地域の情報が知りたい、身近な支援者がいない等地域で声かけや見守りが必要な親子を、主任児童委員や民生委員児童委員に紹介し、地域で見守り活動を行い、子育ての孤立を防ぐ。

実施状況： (単位：人)

年度 \ 区分	紹介人数
令和3	7
4	19
5	12
6	11
7	18

(7) あったか子育て応援講座

目 的：安心して子育てができる地域づくりを推進していくため、富士市の子育て家庭に関心を持ち、挨拶や声かけを行うなど、子育て支援に参加する市民を増やす。

実施状況： (単位：団体・人)

年度 \ 区分	団体数	受講者数
令和3	45	633
4	41	760
5	28	695
6	36	722
7	74	1,274

(8) 地区における健康教育・相談事業

内 容：保健師や管理栄養士が地区活動及び関係機関等から依頼を受け健康教育・相談を実施している。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分		健康相談	健康教育	健康教育内訳	
				食育講座	健康講座
令和3	回数	11	1	0	1
	延べ人数	71	5	0	5
4	回数	16	17	6	11
	延べ人数	213	787	583	204
5	回数	10	15	4	11
	延べ人数	144	693	479	214
6	回数	12	29	13	16
	延べ人数	119	1164	763	401
7	回数	26	24	7	17
	延べ人数	319	886	514	372

(9) 思春期保健

ア 思春期講座

目 的：性に関する正しい知識を伝え、自己の性行動に責任をもたせること、生命の尊さを伝え、自分及び他者を大切にすることを育てる。

対 象：市内の中学校に通学する生徒

内 容：各中学校と協働で実施

① 講話

② 教諭・保護者・保健師・思春期講座サポーター等による赤ちゃん人形抱っこ体験

スタッフ：保健師、教諭、保護者、思春期講座サポーター等

場 所：各中学校

実施状況：

(単位：回・校・人)

区分 年度	回 数	実施校数	参加者数				
			生徒	教諭	保護者	サポーター	その他
令和 3	10	10	956	70	0	22	14
4	12	11	1,049	77	9	39	5
5	11	11	1,161	74	6	52	0
6	9	8	842	65	10	43	4
7	10	9	1,134	74	20	42	11

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は1校中止した。

イ 思春期講座サポーター養成事業

目 的：「思春期講座」に参加して生徒たちに赤ちゃん(人形)の抱っこ体験を指導し、命の大切さについて伝えていただく方を募集し、地域ぐるみで子育てを支援することを推進する。

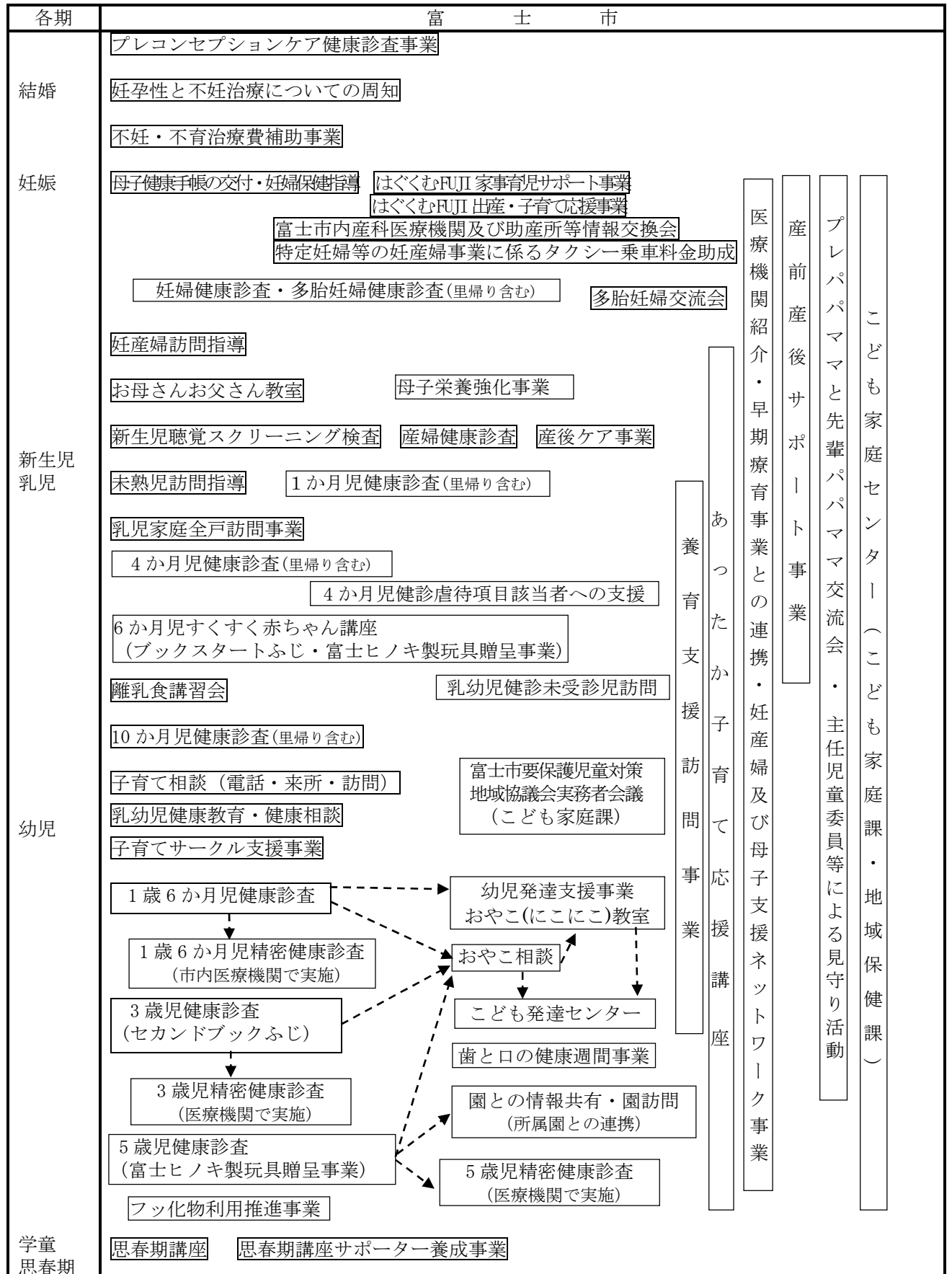
実施状況：

(単位：人)

区分 年度	実人数	事前学習会参加者数
令和 3	124	18
4	71	22
5	52	34
6	45	15
7	42	21

(10) 母子保健事業体系

令和7年度



5 食育推進事業

食育とは

- 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- 様々な体験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

(1) 第4次富士山おむすび計画～富士市食育推進計画～

本計画は、国の「食育基本法」に基づき、「食」を大切にする心の欠如、栄養の偏り、肥満や生活習慣病の増加、「食」の安全上の問題等の食をめぐる現状に対処し、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に、令和4、5年度の2か年で策定したものである。

ア 計画の期間

令和6年度～令和10年度(5か年計画)

イ 計画の内容

本計画は、基本理念を「食で育む健全な心とからだ」と定め、その理念を達成するため、全市民を対象に以下の施策を推進していくこととしている。

<基本方針と基本施策>

食を通して心身の健康を育む	食を通して豊かな人間性を育む	食への理解を深める
○望ましい食習慣の定着 ○栄養バランスの良い食生活の推進 ○食を通しての生活習慣病の予防・改善 ○食生活を維持するための歯と口の健康増進	○家族や仲間と楽しく食べる習慣の定着 ○基本的な食事作法の定着の推進 ○食文化の伝承	○環境への配慮 ○食の安全・安心確保 ○地産地消の推進 ○食育体験活動の推進

ウ 計画の実施

計画を効果的に推進するため、単年度ごとに実施計画を作成し、より具体的に施策を推進するとともに、全庁的な推進を図るため、地域保健課を中心に庁内組織である食育推進連絡会及び担当者部会を設置し、計画の総合的な推進を図る。

また、実施計画に位置づけられた各事業の達成状況をもとに、食育推進会議において毎年進捗状況の検証及び評価を行っている。

(2) 令和7年度食育推進事業

ア 会議

(単位：回)

市 民 会 議	回数	庁 内 会 議	回数
食育推進会議	3	食育推進連絡会	1
食育推進事業実行委員会	3	食育推進連絡会担当者部会	1

イ 食育推進計画PR事業

(ア)第17回富士山おむすび計画食育弁当コンテスト

目的：市民の食育への関心を高めるために、栄養バランスや地産地消に配慮した「食育弁当コンテスト」を開催した。

応募点数：4,183点（応募人数：4,183人） 市民投票数：3,072票

入賞：（単位：点）

	賞	作品数
総合グランプリ	魚・大豆を食べま賞	1
グランプリ	彩り賞	1
	バランスいいで賞	1
	地産地賞	1
	野菜・海藻・きのこ賞	1
	キャラ弁賞	1
	金賞	6
	銀賞	24
	特別賞	14

(イ)食育啓発事業

下記イベント等で、富士山おむすび計画や食育の啓発・PR活動を行った。

実施状況：（単位：人）

事業名	内容	参加人数
食育PR展示（3回）	食育月間PR展示・食育弁当コンテスト作品展示	1,500
歯っぴい健口フェスタ	フードモデル展示・食育啓発冊子配布	450
静岡ガス 食育フェスタ	野菜摂取普及啓発・食育啓発冊子配布	663
くみまちストリートマルシェ	野菜苗当てクイズ・食育啓発冊子配布	110
わくわくフェスタ伝法	食育クイズ・ゲーム	176
広見スポーツアートフェス	食育啓発・スタンプラリー	99
ふじBousai 2025	防災クイズ、家庭備蓄、パッキング	150
富士市生活展	食育啓発冊子配布	160
吉原マルシェ	野菜の花あてクイズ	453
なんでも富士山 2025	食育弁当コンテスト表彰式・食育クイズ（お茶の飲み当て）・食育啓発冊子配布	2,267
むすびんを活用したPR（4回）	着ぐるみを活用	70
ふじ食プロジェクト（13回）	園児・保護者への食育ぬり絵・食育啓発冊子の配布・食育4コマ漫画展示等	3,374
合 計		9,472

ウ その他食育事業

(ア) 食育講演会

(単位：人)

内 容	会 場	講 師	参加人数
乳児期からの食育講演会 (離乳食勉強会)	フィランセ 4 階大ホール	飯泉哲哉 (いいずみ ファミリークリニック)	105
地域での食育講演会 (パッキング)	富士見台 第 7 公園	高橋 亨 (富士市立少年 自然の家)	250

(イ) 小中学生栄養調査

目 的：食習慣質問票を用いて、調査時点の直近 1 か月の食事の内容を調査することにより、個人及び所属集団の栄養・健康状態を明らかにする。

実施状況：

(単位：人)

学校名	学 年	調査実施人数	結果説明実施人数
吉永第一小学校	6 年生	69	食生活講座 (児童 69)
原田小学校	6 年生	58	食生活講座 (児童 63)
吉原北中学校	1 年生	85	食生活講座 (生徒 88)
吉原第三中学校	1 年生	106	食生活講座 (生徒 107)

(ウ) 食育啓発講座等の開催

実 績：26 回／年(参加者：1,094 人)

(エ) 高校生の健康づくり支援事業

目 的：高校生のうちから自分の健康は自分で守る力を身につける、生徒を通じた家族ぐるみでの健康的な食生活の意識向上を目的に、高校の文化祭等イベントでの普及啓発や食生活講座を実施する。

【ア】 文化祭等イベントでの健康づくり普及啓発

対 象：富士市内高等学校

内 容：食生活チェック、インボディ測定、血管年齢測定、ベジチェック、情報コーナー、栄養相談

スタッフ：栄養士、食生活推進員

実施状況：2 校 2 回 延べ 468 人

【イ】 食生活講座の開催

対 象：富士市内高等学校

内 容：食事バランスについての講話、調理実習

スタッフ：栄養士、食生活推進員

実施状況：2 校 2 回、延べ 126 人

(オ)食育推進地区事業

【神戸地区】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
食育アンケート	神戸地区全世帯に食育アンケートを実施、結果回覧	1	1,261
野菜栽培体験	とうもろこし・さつまいもの栽培体験	4	193
サマーワーク	サイダーかん作り体験	1	22
富士の和紅茶手作り体験	富士市で作られた茶葉を使った和紅茶作り体験	1	40
作ってみよう！食育弁当♪展示	夏休みの自由課題として、神戸小学校児童が取り組んだ作品を神戸地区文化祭にて展示	1	200
地産地消さつまいもクッキー作り	神戸地区で収穫されたさつまいもを使ったクッキー作り体験	1	18
合 計		9	1,734

【富士見台地区】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
食育アンケート	富士見台地区全世帯に食育アンケートを実施 結果回覧	1	2,165
親子ピザ作り体験	親子で生地から作るピザ作り体験	1	31
オータムイン富士見台 (富士見台地区文化祭)	1 日子ども食堂として、ミニツナ和風カレーの提供	1	200
作ってみよう！食育弁当♪展示	夏休みの自由課題として、富士見台小学校児童が取り組んだ作品を富士見台地区文化祭にて展示	1	300
富士見台ぐるりんウォーキング	血管年齢測定・食育4コマ漫画展示	1	45
親子クリスマスカップ ケーキ作り体験	富士市産フルーツを使った親子でクリスマスカップ ケーキ作り体験	1	58
合 計		6	2,799

【吉永北地区】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
食育アンケート	吉永北地区全世帯に食育アンケートを実施	1	905
野菜栽培体験	吉永第二小学校児童とさつまいものつるさし、収穫 体験	1	36
吉永北地区文化祭	1 日子ども食堂として、ミニツナ和風カレーと青パ パイヤ料理の提供	1	220
作ってみよう！食育弁当♪展示	夏休みの自由課題として、吉永第二小学校児童が取り組んだ作品を吉永北地区文化祭にて展示	1	200
いきなりだんご作り	地元で収穫されたさつまいもを使用したいきなりだ んご作り体験、さつまいも料理試食	1	16
合 計		5	1,377

(力)食育推進校事業
【神戸小学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
野菜栽培体験 (1・2・5年生)	野菜栽培・収穫体験・調理実習（夏野菜、さつまいも、かぼちゃ）	4	104
調理実習（5年生）	ほうれん草・じゃがいもを使った調理実習	1	23
梅の加工品作り体験 (5年生)	梅シロップ・梅干し作り体験、試食	2	46
お弁当のおかず作り (6年生)	地元の食材を使って、お弁当のおかずを作る （しらす卵焼き・ほうれん草の乾物と和え）	1	36
サイダーかん作り (2年生)	サイダーかんの作り方説明、寒天の講話、実習、試食	1	27
作ってみよう！食育弁当♪	夏休みの自由課題として、児童が食育弁当作りに挑戦する。	1	13
こんなお菓子あったらいいな（5・6年生）	吉原菓子組合主催、お菓子の案を募集、選ばれた作品は商品化	1	57
伝統的な和菓子出前授業 (3年生)	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験	1	34
だしの出前授業(5年生)	だしソムリエによるだしとり実演、講話、試飲	1	23
お魚解体見学 (3・4年生)	鰯の解体見学、食育講話、試食	1	68
調理実習(6年生)	茹でる、炒める調理実習	1	36
地元食材給食提供 (全校児童)	富士市産のバナナを使用した給食提供	1	185
合 計		16	652

【吉永第二小学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
野菜栽培体験 (1・2年生)	野菜栽培、収穫体験、調理実習（夏野菜、さつまいも、じゃがいも）	5	55
お弁当のおかず作り (6年生)	地元の食材を使って、お弁当のおかずを作る （しらす卵焼き・ほうれん草の乾物と和え）	1	36
味噌作り講座 (5・6年生)	味噌についての講話、味噌作り体験	1	28
作ってみよう！食育弁当♪	夏休みの自由課題として、児童が食育弁当作りに挑戦する。	1	6
こんなお菓子あったらいいな（5・6年生）	吉原菓子組合主催、お菓子の案を募集、選ばれた作品は商品化	1	4
伝統的な和菓子出前授業 (3～6年生)	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験	2	49
牛乳出前授業 (1・2年生)	学校給食牛乳提供業者による講話、ヨーグルトの試食	1	18
だしの出前授業(5年生)	だしソムリエによるだしとり実演、講話、試飲	1	21
合 計		13	217

【富士見台小学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
梅の加工品作り体験 (5年生)	梅シロップ・梅干し作り体験、試食	1	44
野菜栽培体験 (1・2年生・支援級)	野菜栽培・収穫体験（じゃがいも、玉葱）	2	84
お弁当のおかず作り (6年生)	地元の食材を使って、お弁当のおかずを作る （しらす卵焼き・ほうれん草の乾物和え）	2	53
味噌作り講座 (5・6年生)	味噌についての講話、味噌作り体験	1	88
作ってみよう！食育弁当♪	夏休みの自由課題として、児童が食育弁当作りに挑戦する。	1	105
エコ・クッキング講座 (3年生)	エコ・クッキングナビゲーターによる講話、実演、試食	1	39
伝統的な和菓子出前授業 (3・5・6年生)	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験	4	138
お魚解体見学 (1・6年生)	鰯の解体見学、食育講話、試食	1	87
こんなお菓子あったらいいな（5・6年生）	吉原菓子組合主催、お菓子の案を募集、選ばれた作品は商品化	1	84
日本料理出前授業 (5年生)	日本料理に関する講話、実演、試食	1	44
牛乳出前授業（1年生）	学校給食牛乳提供業者による講話、ヨーグルトの試食	1	60
収穫・感謝祭 (5年生)	和食についての取組報告、収穫した食材や作成した加工品の試食	1	65
合 計		17	891

【吉原北中学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
家庭科授業(2年生)	調理・地産地消・食品衛生の講話、実習、調理計画作成、調理実習（シチュー、ムニエル）	12	324
食育弁当コンテスト説明 (1・2・3年生)	栄養バランス・成長期に必要な栄養素・地産地消・お弁当作りについての講話、お弁当計画書作成	11	324
チャレンジ！鰯の三枚おろし！	鰯の三枚おろし実演・体験、調理、食育講話	3	85
お茶のいれ方教室 (3年生)	お茶のいれ方や効能についての講話、実践	4	130
伝統的な和菓子出前授業 (3年生)	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験	4	130
エコ・クッキング講座 (3年生)	エコ・クッキングナビゲーターによる講話、実演、試食	4	130
野菜栽培体験 (1年生・支援級)	野菜栽培体験（じゃがいも、玉葱）	1	93
栄養調査結果説明 (1年生)	栄養調査結果説明と成長期の食生活に関する講話	3	85
合 計		42	1,301

(3) 食生活推進員活動支援事業

目 的：食生活推進員が行う食生活改善並びに食育に関する普及啓発活動を支援する。

内 容：役員会、育成研修の実施。食生活推進員の活動を支援。

対 象 者：富士市食生活推進員会員 82 人

ブロック別食生活推進員会員数： (単位：人)

ブロック	地 区	会員数
北部	神戸・富士見台・吉永北・大淵・青葉台・広見・丘	17
東部	吉原・伝法・今泉・吉永・元吉原・須津・浮島・原田	23
南部	駅北1・駅北2・富士北・駅南・富士南・田子浦	22
西部	岩松・岩松北・鷹岡・天間・富士川・松野	20
合 計		82

ア 研 修

(単位：回・人)

区分	内 容	回数	食推人数
総会	総会及び研修会「健康クッキングに向けて」	1	64
研修会	講話 健康クッキングについて	1	57
	講話・実技 健康啓発と各種測定	2	57
	調理実習 健康づくりのための減塩食	2	64
	調理実習 季節の行事食 おせち料理	2	61
	調理実習 フレイル予防の食事	2	72
	講話 食の安全情報について	1	68
合 計		11	443

イ 活動状況

(単位：回・人)

活 動 内 容		回数	一般参加数	食推人数
健康クッキング	小学生ピザ作り（事前準備含む）	16	199	129
自主活動	富士川第一小学校クラブ活動（料理クラブ）	5	90	20
	神戸地区サマワーク（サイダーかん作り）	1	80	4
	富士川第一児童クラブ 食育活動（食育紙芝居）	1	90	2
	北翔まつり（野菜普及啓発活動）	1	148	4
	松野文化祭	1	100	1
	富士川文化祭	1	235	3
	岩松文化祭	1	118	4
	神戸地区クリスマスイベント（さつまいもクッキー作り）	1	50	4
	松野サロン（フレイル予防の講話）	1	8	1
	岩松（味噌作り）	1	20	3
	シニア子ども食堂 調理準備	15	70	15
全体活動	富士市立高校文化祭（野菜普及啓発等）	1	231	8
	吉原工業高校文化祭（体組成測定、血管年齢、栄養相談等）	1	237	7
	富士東高校食生活講座（パッククッキング）	1	36	4
	食育フェスタ（野菜当てクイズ等）	2	663	10
	吉永第二小学校食育推進校事業（お弁当のおかず作り）	1	15	3
	富士見台小学校食育推進校事業（お弁当のおかず作り）	1	53	7
	神戸小学校食育推進校事業（お弁当のおかず作り）	1	36	8
	神戸小学校食育推進校事業（サイダーかん作り）	1	27	6
	富士見台地区食育推進地区事業（カレー試食作り・配布）	1	200	5
	吉永地区食育推進地区事業（カレー・青パパイヤ試食作り・配布）	1	220	6
	食生活推進員養成講座	1	14	3
	神戸小学校食育推進校事業（フルーツきんとん作り）	1	33	6
	吉永第二小学校食育推進校事業（フルーツきんとん作り）	1	10	3
	なんでも富士山 2026（お茶飲み当てクイズ）	2	2,267	21
合計		61	5,250	287

ウ 活動に関する会議

(単位：回・人)

会議	回数	食推延べ人数
富士市食生活推進員役員会	6	88
富士市食育推進事業実行委員会	3	3
合計	9	91